越智文雄氏
1934年　大学文学部英文学科卒業
女子大学学長

新島襄

一　人間一人の身として甚だ大切の者なり。依りて小児、乞食のごときをも軽卒に取扱うべからず。

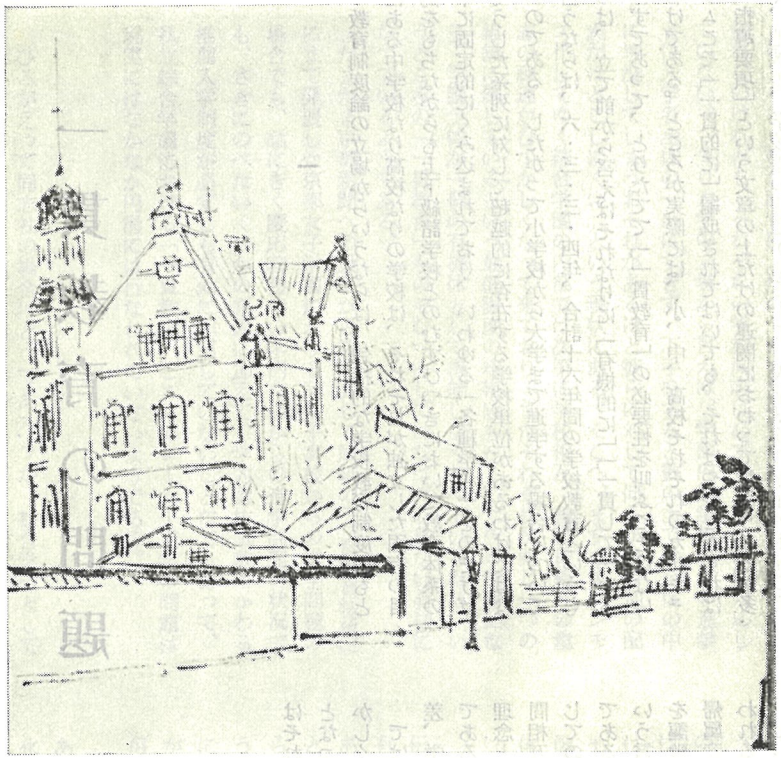
一　人の過ちを見、あるいはこれを聞く時は、これを己れの身に省りみ、己れも過ちなきやを探るべし。己れの過ちある時は決して改めるにはばかるなかれ。好んで人の過ちを語るなかれ。

一　己れの才智あるいは芸に誇り礼儀退譲をゆるがせにするなかれ。

一　己れに克ちてつつしみ、私慾を逞しくすることなかれ。

一　少年は学問をよく勉励すべし。己れの長所をもってその業をえらぶべし。

経済学部入試が終った直後の大学キャンパス（２月12日）



明治27年１月、開館の頃のクラーク記念館―(三浦鉄造氏画)―50ページ参照

部落伝道に活躍する東岡山治氏（中央）ご一家
1953年　大学神学部　　1955年　大学院神学研究科卒業
第４回サリバン奨学金受給者　　滋賀県長浜教会牧師